

登録コード	A3595476	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究				担当教員	上村 佳奈		
英文授業名	Thesis Research							
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				学術論文のレビューやテストデータの習得、解析を実施することで、卒業研究のための基礎能力を習得する。			
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				学術論文のレビューやテストデータの習得、解析を実施することで、卒業研究のための基礎能力を習得する。			
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				学術論文のレビューやテストデータの習得、解析を実施することで、卒業研究のための基礎能力を習得する。			
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				学術論文のレビューやテストデータの習得、解析を実施することで、卒業研究のための基礎能力を習得する。			
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	既存研究についてのレビュー、発表を各自行う その他：学期最後に授業アンケートを実施します							
(5)授業計画	後ほど提示する							
(6)自主学習の指針	卒業研究のためのデータ収集、解析、既存研究のレビューを行う							
(7)成績評価の基準	出席（3分の2以上）と発表、発表資料から評価する							
(8)事前事後学習の内容	レビューや発表準備、発表時に得たコメントについて考える							
(9)テストやレポートの予定	発表の資料作成							
(10)成績評価の方法	出席と発表、発表資料から評価する							
(11)質問、相談への対応および連絡先	メールまたは講義後に対応							
(12)履修上の注意	本分野は日本語の文献が少ないため、英語文献を多く読むことになります。また、気象や生態、被害データなどを定量的に評価するため。GIS、数理モデル、力学、プログラミングに興味を保つ必要があります。							
【教科書】	特に使用しない							
【参考書】	特に使用しない							